

横山式シンプル・キャッシュフロー計算書で キャッシュの増減理由をつかむ

～ 利益が出ているのに なぜキャッシュが減るのか？ ～

企業経営において最も重要なのは「利益」ではなく「キャッシュ」ですが、損益計算書(PL)の「利益」だけで経営判断を行なっている方が多いのも事実です。

しかし、利益が出ているのにキャッシュが減っているような場合、損益計算書(PL)だけ見てもその原因はつかめませんし、原因がわからなければ、キャッシュの流出を止めることもできません。

このような時、キャッシュフロー計算書(CF計算書)が必要となるのですが、初心者にとっては、かなりハードルが高いもの…。

そこで、今回はパソコンがなくても、電卓だけで簡単に作れる『横山式シンプル・キャッシュフロー計算書』のノウハウを伝授していただきますので、「自社のキャッシュフロー計算書(CF計算書)を見たことがない」という経営者の方も、この機会にご参加下さい。(当日は電卓をご持参下さい)

開催要領

日 時 : 平成29年9月19日(火) 13時30分～16時00分

場 所 : 北海道経済センター 8階Bホール(札幌市中央区北1条西2丁目)

講 師 : **横山 悟一** 氏 財務リスク研究所(株) 代表取締役

受講料 : 会員 3,000円 非会員 5,000円

※ 受講料は当日会場で申し受けいたします。

※ 無料受講券をご利用の方は当日ご持参願います。

定 員 : **各法人会40名** (定員になりましたら、お断りの連絡をさせていただきます。)

申込方法 : 裏面の受講申込書に記入の上、各法人会事務局へFAXにてお申し込み下さい。

(公社) 札幌中法人会 FAX : 221-5107 / TEL : 221-5087

(公社) 札幌西法人会 FAX : 241-3216 / TEL : 231-0763

(公社) 札幌北法人会 FAX : 709-8830 / TEL : 709-8802

(公社) 札幌東法人会 FAX : 802-6745 / TEL : 802-6744

(公社) 札幌南法人会 FAX : 241-3218 / TEL : 251-7863

講座内容

- I. キャッシュフロー計算書とは？
II. キャッシュフロー計算書の構造
III. 横山式シンプル・キャッシュフロー計算書とは？
IV. 事例演習
利益が出ているのにキャッシュが減ってしまった理由を探る
V. 金融機関は「キャッシュフロー計算書」のここを見る！

講師 **横山 悟一** (よこやま ごいち) 氏
財務リスク研究所(株) 代表取締役

1969年茨城県生まれ。茨城県立太田第一高等学校、法政大学卒業。会計事務所、コンサルティング会社等の勤務を経て、2002年アーネストコンサルティングを開業。2008年6月、名称を『財務リスク研究所』に変更。約10年にわたる研究を重ね、指標を使わない世界初の分析手法「ビジュアル分析」を開発。難解なバランスシートをわかりやすくするだけでなく、決算書に潜むリスクや粉飾を読み解くノウハウを確立。分析した決算書はすでに5,000社を超えている。



〔 受講申込書 〕

横山式シンプル・キャッシュフロー計算書で キャッシュの増減理由をつかむ

(9月19日(火) 13:30から開催)

会場 北海道経済センター 8階 Bホール(札幌市中央区北1西2)

◎この申込書は受講票になりますので、当日ご持参ください。(改めて受講票の発行はいたしません。)

会社名		○で囲む	法人会会員・非会員
住所		TEL	
		FAX	
参加者名			

お願い * 申し込み後、受講できなくなった場合は、事務局へご連絡ください。
* 会場には駐車場がありませんので、公共の交通機関をご利用ください。